公民科（倫理）学習指導案

指導者　愛知県立小牧南高等学校教諭　吉田将人

１　日時・場所　平成２９年　７月１３日（木）　第１限　　３－１教室

２　学級　　３年１組　普通科　応用クラス　男子　１８名　女子　２３名　　計　４１名

３　単元名　人間としての自覚　（全１８時間）

４　単元の目標

ア　人生における哲学、宗教について理解し、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について考察する

イ　人間としての生き方、あり方について考察を深めている。

５　単元の指導計画

（１）単元の配当時間

・人間とは何か　　１時間

・ギリシャの思想　４時間

・キリスト教　　３時間

・イスラーム　　１時間

・仏教　　２時間

・中国の思想　　３時間　本時（2 時間目）

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
哲学、宗教のもつ意義に対する関心を高め、それらのもつ人間の存在や価値にかかわる課題を意欲的に考察しようとしている。	先哲の思想を手がかりとして多面的・多角的に考察し、人間としてのあり方について広い視野に立って主体的に判断している。	人間の存在や価値にかかわる基本的な課題を探求する学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択し、活用している。	人生における哲学、宗教のもつ意義などについて、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題であることに気づき、人格形成に生かす知識として身につけている。

（３）指導と評価の計画（4 時間）

次程	ねらい・学習活動等	関	思	技	知	評価規準等
第一次（1時間扱い）	【ねらい】人間とは何かという問いを基にして、人間性の深さについて考察させる。					
	・人間とは何かという問いについて、思想家や哲学者の言葉を基に自らの考えを深めている。		●			・思想家の言葉をもとに人間とは何かという問いについて思考を深めている。（ワークシート）
第二次（4時間扱い）	【ねらい】ギリシャ思想を理解し、広い視野に立ち主体的に命題について判断させる。					
	・禁欲主義、快楽主義について、理解を深めると共に困難に直面する場面設定での命題に対して、主体的にどういった考えで対処していくか考えている。		●			・命題に対して、主体的に判断し選んだ理由を明確にしている。（ワークシート）

第三次（3時間扱い）	【ねらい】ユダヤ教、イエスの思想、アウグスティヌス、トマス＝アクィナスについての思想を理解させる。					
	・ユダヤ教、イエスの思想、アウグスティヌス、トマス＝アクィナスについて理解をしている				●	・ユダヤ教、イエスの思想、アウグスティヌス、トマス＝アクィナスの思想について、理解している。 （小テスト）
第四次（1時間扱い）	【ねらい】クイズによってイスラームの理解を促し、関心を高めさせる。					
	・イスラームについてのクイズを実施して、イスラームの生活規範などについて、意欲的に考察している。	●				・イスラームの理解を通じて、意欲的にイスラームを考えている。 （ワークシート）
第五次（2時間扱い）	【ねらい】仏教のあり方について、考察し内容を理解させる。					
	・仏教の諸法無我や諸行無常を具体的な事例を基にして理解を深めている。				●	・バラモン教、ジャイナ教、仏教について理解している。 （ワークシート）
第六次（3時間扱い）	【ねらい】儒教や道教の考え方を知ることによって、人間としての生き方の考察をさせる					
	・孟子の四端の心の具体的事例を考えさせることによって、自らの体験とリンクさせ、身近なものであると知る。	●				・四端の心に基づいた自らの体験を考えている。 （ワークシート）
	・道教についての無為自然や万物斉同について知り、世の中の多様な見方に関心を持つ。	●				・道教について関心を深めている。 （ワークシート）

6　本時の学習

（1）本時の目標

孟子の四端の心や荀子の性悪説を考えることにより、生き方の考えを深めている。

（2）教材

倫理　（東京書籍）　プリント

（3）本時の指導計画

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・評価方法
導入8分	前時までの復習	・プリントによって、前の授業二時間分の復習の問題を行う。	・この活動の間に授業で使う板書を書き進める。	

展開３０分	性善説、性悪説について	・生まれたばかりの赤ちゃんが持っているのは善い心か悪い心かを考え、ワークシートに表現する。	・複数人に発表させ、どちらの意見も否定することなく多様な意見を尊重する。	
	儒教の展開	・孟子がどういった人物であるかを知る。	・孟子のエピソードを紹介し、生徒の孟子に対する関心を深める。	
	四端の心 ４つのエピソード	・「人助けをしたエピソード」 「悪いことを目撃して許せないと思ったエピソード」 「自らが譲ったというエピソード」 「善悪の判断で迷ったエピソード」 などを考えることによって、四端の心が自分にも関連したものであると知る。	・例えなどを提示することで意欲的に表現できるようにさせる。 ・発表は数人を指名する。	【思考・判断・表現】 （ワークシート）
	覇道政治と王道政治	・図を基に覇道政治、王道政治を理解する。	・対話によって授業を展開する。	
	五倫	・５つの関係（父子、君臣等）に必要な徳（心）を考える。適宜、隣同士で相談とする。	・発問によって授業展開する。	
	性悪説、荀子	・生まれつき人間は悪であるとして、そういった悪人には何が必要であるかを考え隣同士で発表する。	・数人を指名し、発表させる。	
	韓非子、法治主義	・当時の法治主義がどのような状況であったかを知る。	・適宜発問し注意を引きつける。	
まとめ	本時の復習 一問一答	・問題を解き、解説を聞くことで本時の復習をする。	・簡潔な説明にとどめる	

（４）本時の評価規準

・ワークシートの評価規準【思考・判断・表現】

「具体的な事例を３つまで表現している」

「おおむね満足できる」状況（B）と評価される例
・ワークシートに自らの経験を表現している。
「十分満足できる」状況（A）と評価される例
・４つ全ての枠（四端の心）が埋まっていて、適切に表現されている。
「努力を要する」状況（C）と評価される生徒の例と教師の指導
・１つ、２つまたは全く進んでいない。　→机間巡視し、書くよう促す。また例え話などによって例を示す。

７　御高評